

ストック効果① 防災課題箇所の回避

- 一般国道156号現道は、斜面崩落や落石等の危険を有する山と、豪雨による路面崩落等の危険を有する川に挟まれた道路。
 - 過去17回※、土砂流出や増水による路面崩壊等で被災し、通行止めを経験。
 - 大和改良の開通により、被災リスクが高い現道(一般国道156号)を回避し、災害に強い道路網を構築。
- ※1971年～2019年の48年間

一般国道156号 現道の防災課題箇所



写真① 路面崩落の発生状況



写真② 土砂流出の発生状況



整備後 防災課題箇所を回避

災害に強い道路網を構築！



■郡上市からの声

- ・一般国道156号現道は、土砂災害特別警戒区域に指定されています。
- ・今回の全線開通により、解消されることとなり安心・安全な通行が確保されることを期待します。



出典：国土交通省調査結果(2020.6月)

ストック効果② 交通安全の確保

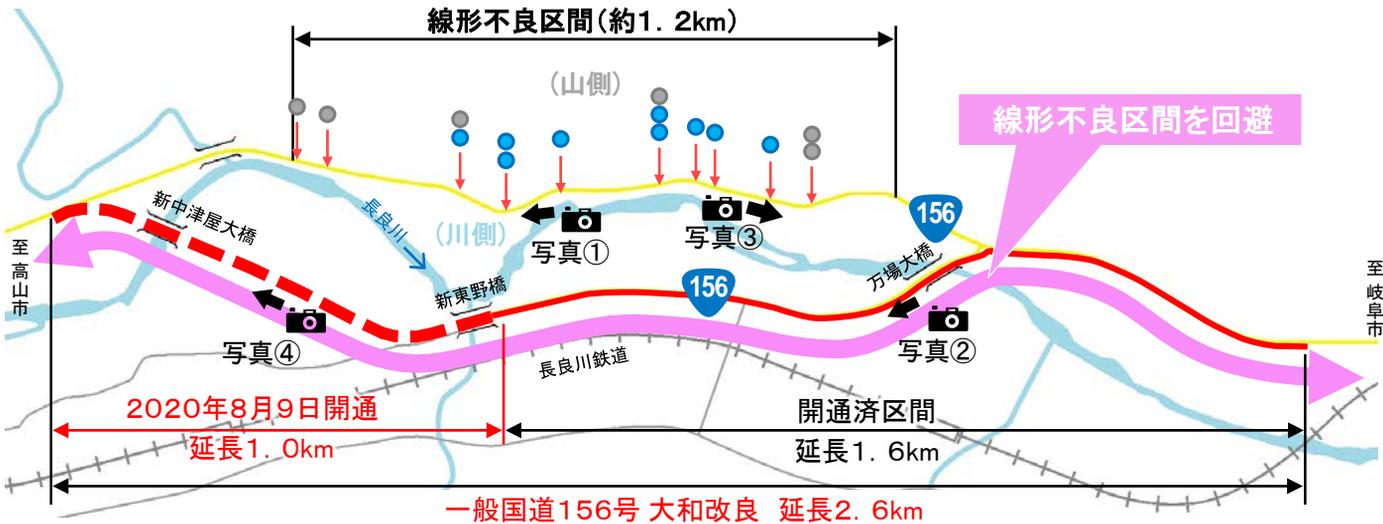
- 一般国道156号現道は、**見通しの悪いカーブの連続(線形不良区間)**に加え、**冬期には山間部の日陰となり路面凍結が発生することもあり、事故発生**の危険性が高い道路。
- 大和改良の開通により、現道(一般国道156号)の**線形不良区間や路面凍結状況を回避し、交通事故の減少に期待**。

一般国道156号 現道の線形不良区間、事故発生場所



凡例 ● 冬期事故(12~2月) ● 冬期以外の事故(3~11月) (※事故発生場所は、事故統合データ 平成13~30年を集計)

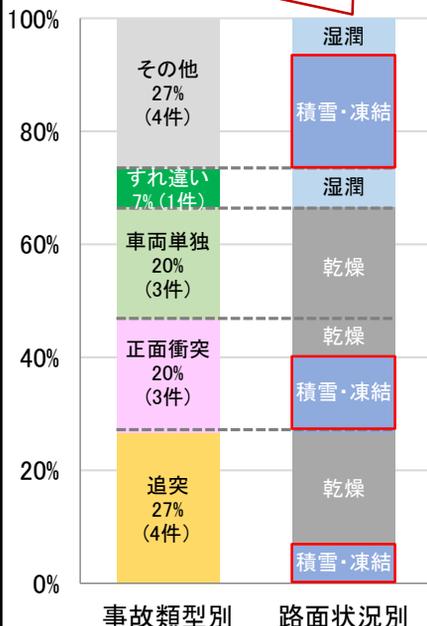
— 一般国道156号 現道 — 開通済区間 ■■■ 開通区間



一般国道156号 現道

線形不良区間で発生した交通事故類型別・路面状況別比率

「積雪・凍結」時が全体の約4割



見通しの悪いカーブの状況



路面凍結の発生状況



一般国道156号 大和改良 交通事故減少に期待!

見通しの良い緩やかなカーブ



日当たりの良い開けた場所



整備後 線形不良区間を回避